

＜石油の里＞見学会について

新潟駅から車に乗り、天然ガスが道端で湧き出している光景驚な到着した。「石油の里」は、明治から大正にかけて日本一の産油量を誇っていた新津油田を今に残す施設群だそうで、今回は「石油の世界館」「石油文化遺産施設」を見学した。「石油の世界館」では、原油の産地による違いや埋蔵形態の違いなど基本的な知識のほか、全盛期の新津油田における採掘技術や施設規模なども知ることができた。また、金津層の路頭（地層）の展示物に触れられたことは貴重な体験だった。

「石油文化遺産施設」では平成8年3月まで実際に使われていた石油の採掘・精製施設も見学した。人家とは塀一つの距離に存在することに驚くと共に、知識でしかなかった精製過程の現場を見られたことはとても良い経験であった。

